

2025年 大阪・関西万博開催に向けて



阪神高速は、関西のくらしや経済・社会活動を下支えするインフラ企業として、大阪・関西万博の成功に貢献し、未来社会を描きます。

©Expo 2025

1 万博開催期間中の交通円滑化への貢献

大阪・関西万博開催期間中の交通需要増加に対して、シャトルバス運行に向けた淀川左岸線2期区間の整備や、渋滞の原因となるボトルネック対策などのハード施策のほか、う回を促すTDMなどソフト施策も含めたトラフィックマネジメントを実施することで、阪神高速道路の渋滞緩和や快適な走行、万博交通の輸送円滑化などに貢献します。



↔ シャトルバスアクセスルート
↺ う回路ルート
— 混雑する路線
⋯⋯ 建設中路線
○ ボトルネック箇所

2 パーキングエリアでの多様なニーズに対するサービス提供

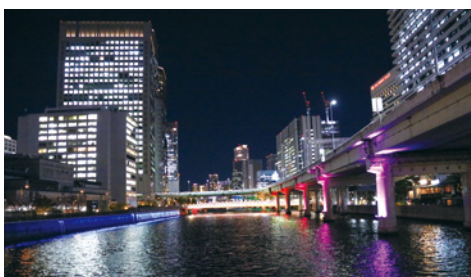
大阪・関西を訪れるお客さまの多様なニーズにお応えするため、コンシェルジュサービスやデジタルサイネージなどのコンテンツの多言語対応、ピクトグラム表示の充実などの取り組みを進めています。また、大阪・関西万博開催に向けた気運醸成や沿線自治体を含む地域との連携を進めていきます。



イメージ図

3 大阪・関西万博の気運醸成につながる地域のにぎわい創出

大阪・関西万博の気運醸成や地域活性化への貢献として、湾岸線長大橋や中之島エリアにおいて、環境にも優しいLED照明を用いたライトアップによる夜間景観の形成や、会場周辺や観光客が集まるスポットを中心に街や自然と調和のとれた道路構造物への修景による都市景観の形成に取り組みます。



中之島エリア橋脚ライトアップ(2022年12月から点灯中)

4 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

お客さまの多様性に対応しつつ渋滞等の緩和にもつながる最適な移動の組み合わせを導出・提案する技術の開発および他の交通手段やさまざまな沿道施設などと連携した快適な移動サービスの提供を目指します。大阪・関西万博会場へのシャトルバスアクセスルートにおいて、関係機関とともに、運行事業者が行う自動運転車の走行実装に対し、合流支援システムによる情報提供や自車位置特定技術の提供などを通じて協力します。



出典：国土技術政策総合研究所ホームページ